付録

付録１　アンケート調査票・・55

付録２　アンケート調査結果・・・64

付録３　事例調査結果・・82

付録４　令和 7 年度版　スキル標準・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・155

付録５　令和 7 年度版　カリキュラム・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・158

付録６　講義教材プロトタイプ版・・・159

付録７　演習教材プロトタイプ版・・・192

付録８　PBL 教材プロトタイプ版・・・212

付録９　プレ実証講座アンケート調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・291

【自治体対象】

島嶼部における複合スキル型エッセンシャルワーカー育成に関するアンケート調査

［**用語説明**］

＊**複合スキル**：自らの専門領域を軸にしつつ、デジタル技術の活用や他分野との連携を通じて課題解決に貢献できる能力を指します。

＊**エッセンシャルワーカー**：ここでは、医療・福祉、行政、IT、観光、物流など、地域社会の基盤を支える分野で働く人材を指します。

1．回答者情報

以下の情報についてご記入ください。

1.自治体名	
2.所属部署名	
3.役職	
4.お名前	
5.メールアドレス	

2．人材の確保状況・研修

(1)貴自治体における地域を支える職員（エッセンシャルワーカー）の確保状況について、該当する選択肢をお選びください。

□十分に確保できている
□やや不足している
□大きく不足している
□その他（　　）

(2)「**やや不足している**」または「**大きく不足している**」と回答された場合、人材不足に関して感じている課題をお選びください。（複数選択可）

□就職希望者が少ない
□労働条件
□地理的条件と生活環境
□研修などによるキャリアアップの機会制限
□採用コスト
□その他（　　）

(3) 人材不足への対応策として現在実施していること、あるいはこれから取り組む事項を可能な範囲でご記入ください。

(4) 貴自治体における地域課題の解決や業務改善のための研修の実施について、当てはまるものを選択してください。

□定期的に実施している
□必要に応じて実施している
□実施したことはあるが、今はしていない
□実施の検討はしたが、実施できていない
□これまで検討も実施もしていない
□その他（　　）

(5)地域課題の解決や業務改善のために、研修の必要性について当てはまるものを選択してください。

□非常に必要
□ある程度必要
□あまり必要ない
□必要ない

(6)研修を実施するうえでの課題について当てはまるものを選択してください。（複数選択可）

□研修時間の確保が難しい
□講師や教材の確保が難しい
□費用負担が大きい
□効果や成果の測定が難しい
□その他（　　）

(7) 医療・福祉・介護分野の事業所やIT系企業などと地域課題解決に関する多職種連携の研修実績について当てはまるものを選択してください。

□定期的に実施している
□過去に実施したことがある
□実績はないが、実施の検討はしたことがある。
□実施実績や検討もしたことがない
□その他（　　）

３．DXの取り組み状況

＊「DX（デジタルトランスフォーメーション）」とは、デジタル技術を活用して行政事務の効率化や地域課題の解決を図る取り組みを指します。

(1) 貴自治体の所属部署において、DXの推進は必要性について当てはまるものを選択してください。

□非常に必要
□ある程度必要
□あまり必要ない
□必要ない
□どちらともいえない
□その他（　　）

(2) 現在、貴所属部署におけるDXに関する取り組みとして当てはまるものを選択してください。

□すでに取り組んでいる
□取り組みを検討している
□必要だと思うが取り組めていない
□DX推進に適していない
□現時点では取り組む予定はない
□その他（　　）

(3)(2)で「**すでに取り組んでいる**」または「**取り組みを検討している**」と回答した方に伺います。DXに関連するデジタル技術のうち、活用またはより活用が必要と感じるものを選択してください。（複数選択可）

□AI
□IoT
□ビッグデータ活用
□セキュリティ対策
□AR／VR／MR
□リモートセンシング
□その他（　　）

(4)DXの推進にあたっての課題があれば、該当するものを選択してください。（複数選択可）

□DXに関わる人材が足りない
□専門知識を持つ人材がいない
□効果や成果が見えにくい
□予算の確保が難しい
□現段階では、業務に適していない

□その他（　　）

４．複合スキル型エッセンシャルワーカー

＊「複合スキル型エッセンシャルワーカー」とは、自らの専門領域を軸にしつつ、デジタル技術の活用や他分野（医療・福祉やIT、観光など）との連携を通じて課題解決に取り組む人材を指します。

(1) 医療・福祉・教育・民間事業者・NPO・住民自治組織などの機関との連携や情報共有の機会について当てはまるものを選択してください。

□ 定期的に実施している
□ 必要に応じて実施している
□ あまり実施していない
□ 実施していない
□ その他（　　）

(2) 複合スキル型エッセンシャルワーカーの必要性について当てはまるものを選択してください。

□非常に必要
□ある程度必要
□あまり必要ない
□必要ない
□どちらともいえない
□ その他（　　）

(3) 複合スキル型エッセンシャルワーカーのような人材育成や研修を行った実績について当てはまるものを選択してください。

□定期的に実施している
□過去に実施したことがある
□実績はないが、実施の検討はしたことがある。
□実施実績、検討ともにない
□その他

(4) 複合スキル型エッセンシャルワーカーのような人材の育成や研修の実施を行ううえでの課題よして当てはまるものを選択してください。（複数選択可）

□受講者の選定が難しい
□講師の確保が難しい
□研修テーマの設定が難しい
□研修時間などの調整が難しい

□費用負担が大きい
□その他（　　）

(5) DXや多職種連携に関する研修に参加または職員の派遣に関して当てはまるものを選択してください。
□積極的に参加または派遣したい
□実施内容次第で参加または派遣したい
□現時点では、あまり参加または派遣を考えていない
□その他（　　）

５．本事業への関心

(1) 島嶼部における地域課題解決に寄与する複合スキル型エッセンシャルワーカーの育成プログラム開発に関する本事業への関心度について当てはまるものを選択してください。
□非常に関心がある
□少し関心がある
□事業の説明を希望したい
□あまり関心はない
□関心はない
□その他（　　）

(2)今後、当協会からの情報提供（事業成果・研修案内など）を希望しますか。
□希望する
□希望しない

(3)本事業や自治体における人材育成、DX推進に関して、ご意見・ご感想などございましたら自由にご記入ください。

【医療・福祉(介護)施設対象】

島嶼部における複合スキル型エッセンシャルワーカー育成に関するアンケート調査

［**用語説明**］

＊**複合スキル**：自らの専門領域を軸にしつつ、デジタル技術の活用や他分野との連携を通じて課題解決に貢献できる能力を指します。

＊**エッセンシャルワーカー**：ここでは、医療・介護・福祉・行政・IT・観光・物流など、地域社会の基盤を支える分野で働く人材を指します。

１．回答者情報

以下の情報についてご記入ください。

（記述式）

1.施設名	
2.所属部署名	
3.役職	
4.お名前	
5.メールアドレス	

２．人材の確保状況・研修

(1)貴施設における人材の確保状況について、該当する選択肢をお選びください。

□十分に確保できている
□やや不足している
□大きく不足している
□その他（　　）

(2)【(1)にて「**やや不足している**」または「**大きく不足している**」と回答されたのみ】人材不足に関して感じている課題をお選びください。（複数選択可）

□応募数自体が不足
□特定の資格者確保が困難
□採用コストの高騰
□雇用条件など業務に関する理由による離職
□生活環境を理由とした島外移住による離職
□キャリアアップに関する研修参加の困難性
□中堅以上の職員不足による若手育成の困難性
□その他（　　）

(3)(２)での回答の中で、特に課題である感じている事項についてご記述ください。

(4)人材不足への対応策として、現在実施していることがあればご記入ください。

(5)貴施設における外国人材の活用について、現時点で当てはまるものを選択してください。

□すでに採用している
□採用を検討している
□検討はしたが、採用はしていない
□採用を考えたことはない
□その他（　　）

(6)【(5)で「すでに採用している」と回答されたかたのみ】現在採用している外国人材の人数として当てはまるものを選択してください。

□１～５人
□５～１０人
□１０人以上
□その他（　　）

(7)外国人材の活用に関する課題について、当てはまるものを選択してください。(複数回答可)

□言葉
□専門スキル
□雇用条件
□生活スタイル
□制度
□その他（　　）

(8) 貴施設における人材育成の体制について、あてはまるものをお選びください。

□定期的な研修制度がある
□必要に応じて研修を実施している
□主に実地指導（OJTなど）で対応している
□特に実施していない
□その他（　　）

(9)DXなどの地域医療や福祉の質向上、業務改善を目的とした研修の必要性について当てはまるものを選択してください。
□非常に必要
□ある程度必要
□あまり必要ない
□必要ない
□その他（　　）

(10)研修を行う上での課題があればお選びください。（複数選択可）
□研修時間の確保が難しい
□講師や教材の確保が難しい
□費用負担が大きい
□効果や成果の測定が難しい
□その他（　　）

(11)自治体やIT系企業などとの連携による研修を実施について当てはまるものを選択してください。
□現在実施している
□過去に実施したことがある
□検討したことがある
□実施していない

(12)【(11)に、［現在実施している］［過去に実施したことがある］と回答した方のみ】
どのような研修を実施している(した)かについて可能な範囲で教えてください。

3．DXの取り組み状況
＊「DX（デジタルトランスフォーメーション）」とは、デジタル技術を活用して、業務の効率化や医療・介護サービスの質向上、地域課題の解決を図る取り組みを指します。

(1)貴施設にとって、DX推進の必要性について当てはまるものを選択してください。
□非常に必要
□ある程度必要
□あまり必要ない
□必要ない
□どちらともいえない

(2)現在、DXの取り組み状況について当てはまるものを選択してください。
□すでに取り組んでいる
□取り組みを検討している
□必要だと思うが取り組めていない
□現時点では取り組む予定はない
□その他（　　）

(3)【(2)で「**すでに取り組んでいる**」または「**取り組みを検討している**」と回答した方のみ】
DXに関連するデジタル技術のうち、活用または活用の強化が必要と感じるものをお選びください。（複数選択可）
□AI（人工知能：自動で学習・分析する技術）
□IoT（センサー・ネットワーク：モノをネットにつなぐしくみ）
□クラウド／ビッグデータ活用（データを共有・分析するしくみ）
□セキュリティ対策（情報を安全に守るしくみ）
□AR／VR／MR（拡張・仮想・複合現実：デジタルで体験を広げる技術）
□リモートセンシング（遠隔で状態を観測する技術）
□デジタルツイン（現実空間を仮想空間に再現するしくみ）
□その他（　　）

(4)DXの推進にあたっての課題があれば、該当するものをお選びください。（複数選択可）
□DXに関わる人材が足りない
□専門知識を持つ人材がいない
□効果や成果が見えにくい
□予算の確保が難しい
□試行する機会がない
□その他（　　）

4．複合スキル型エッセンシャルワーカー
＊「複合スキル型エッセンシャルワーカー」とは、自らの専門領域を軸にしつつ、多職種との連携やデジタル技術の活用を通じて課題解決に取り組む人材を指します。
例：公務員やITエンジニアなどとの連携

(1)行政やIT系企業などの他機関との連携や情報共有の機会について、当てはまるものを選択してください。
□定期的に実施している
□たまに実施している
□あまり実施していない

□実施していない
□その他（　　）

(2)貴施設において、複合スキル型エッセンシャルワーカーの必要性について当てはまるものを選択してください。
□非常に必要
□ある程度必要
□あまり必要ない
□必要ない
□その他（　　）

(3) 複合スキル型エッセンシャルワーカーのような人材の育成や研修の実績について当てはまるものを選択してください。
□現在実施している
□過去に実施したことがある
□検討したことがある
□実施していない
□その他（　　）

(4) 複合スキル型エッセンシャルワーカーのような人材を育成・確保するうえでの課題について当てはまるものを選択してください。（複数選択可）
□担当者・講師の確保が難しい
□研修時間や日程の調整が難しい
□費用負担が大きい
□職員の意識や理解が不足している
□その他（　　）

(5)研修の実施や企画する場合に、課題として当てはまるものを選択してください。（複数選択可）
□対象者の選定が難しい
□実施内容のテーマ設定が難しい
□外部連携・協力体制の構築が難しい
□研修後の活用機会が少ない
□その他（　　）

(6)今後、DXや多職種連携に関する研修が島内で実施される場合に、参加または職員の派遣に関する意向として当てはまるものを選択してください。
□積極的に参加または派遣したい
□実施内容次第で参加または派遣したい
□現時点では、あまり参加または派遣を考えていない
□その他（　　）

５．本事業への関心

(1) 島嶼部における地域課題解決に寄与する複合スキル型エッセンシャルワーカーの育成プログラム開発に関する本事業への関心度について当てはまるものを選択してください。
□非常に関心がある
□少し関心がある
□事業の説明を希望したい
□あまり関心はない
□関心はない
□その他（　　）

(2)今後、当協会からの情報提供（事業成果・研修案内など）を希望しますか。
□希望する
□希望しない
□その他（　　）

(3)本事業や医療・福祉分野における人材育成、DX推進に関して、ご意見・ご感想などございましたら自由にご記入ください。

【IT系・物流・交通・教育系など】

島嶼部における複合スキル型エッセンシャルワーカー育成に関するアンケート調査

［**用語説明**］

＊**複合スキル**：自らの専門領域を軸にしつつ、デジタル技術の活用や他分野との連携を通じて課題解決に貢献できる能力を指します。

＊**エッセンシャルワーカー**：ここでは、医療・介護・福祉・行政・IT・観光・物流など、地域社会の基盤を支える分野で働く人材を指します。

１．回答者情報

以下の情報についてご記入ください。

（記述式）

1.貴社名	
2.所属部署名	
3.役職	
4.お名前	
5.メールアドレス	

２．人材の確保状況・研修

(1)貴社における人材の確保状況について、該当する選択肢をお選びください。

□十分に確保できている
□やや不足している
□大きく不足している
□その他（　　）

(2)「**やや不足している**」または「**大きく不足している**」と回答された場合、人材不足に関して感じている課題をお選びください。（複数選択可）

□応募数自体が不足
□特定の資格者確保が困難
□採用コストの高騰
□雇用条件など業務に関する理由による離職
□生活環境を理由とした島外移住による離職
□キャリアアップに関する研修参加の困難性
□中堅以上の職員不足による若手育成の困難性
□その他（　　）

(3)(２)での回答の中で、特に課題である感じている事項についてご記述ください。

(4)人材不足への対応策として、現在実施していることがあればご記入ください。

(5)貴社における外国人材の活用について、現時点で当てはまるものを選択してください。

□すでに採用している
□採用を検討している
□検討はしたが、採用はしていない
□採用を考えたことはない
□その他（　　）

(6)【(5)で「すでに採用している」と回答されたかたのみ】現在採用している外国人材の人数として当てはまるものを選択してください。

□１～５人
□５～１０人
□１０人以上
□その他（　　）

(7)外国人材の活用に関する課題について、当てはまるものを選択してください。

□言葉
□専門スキル
□雇用条件
□生活スタイル
□制度
□その他（　　）

(8) 貴社における人材育成の体制について、あてはまるものをお選びください。

□定期的な研修制度がある
□必要に応じて研修を実施している
□主に実地指導（OJTなど）で対応している
□特に実施していない

(9)DXなどの地域医療や福祉の質向上、業務改善を目的とした研修の必要性について当てはまるものを選択してください。

□非常に必要
□ある程度必要
□あまり必要ない
□必要ない
□その他（　　）

(10)研修を行う上での課題があればお選びください。（複数選択可）
□研修時間の確保が難しい
□講師や教材の確保が難しい
□費用負担が大きい
□効果や成果の測定が難しい
□その他（　　）

(11)自治体やIT系企業などとの連携による研修を実施について当てはまるものを選択してください。
□現在実施している
□過去に実施したことがある
□検討したことがある
□実施していない

(12)【(11)に、［現在実施している］［過去に実施したことがある］と回答した方のみ】
どのような研修を実施している(した)かについて可能な範囲で教えてください。

3．DXの取り組み状況

＊「DX（デジタルトランスフォーメーション）」とは、デジタル技術を活用して業務の効率化や新たな価値の創出、地域課題の解決を図る取り組みを指します。

(1)貴社にとって、DX推進の必要性について当てはまるものを選択してください。
□非常に必要
□ある程度必要
□あまり必要ない
□必要ない
□どちらともいえない

(2)現在、DXの取り組み状況について当てはまるものを選択してください。
□すでに取り組んでいる
□取り組みを検討している
□必要だと思うが取り組めていない
□現時点では取り組む予定はない
□その他（　　）

(3)【(2)で「**すでに取り組んでいる**」または「**取り組みを検討している**」と回答した方のみ】

DXに関連するデジタル技術のうち、活用または活用の強化が必要と感じるものをお選びください。（複数選択可）
□AI（人工知能：自動で学習・分析する技術）
□IoT（センサー・ネットワーク：モノをネットにつなぐしくみ）
□クラウド／ビッグデータ活用（データを共有・分析するしくみ）
□セキュリティ対策（情報を安全に守るしくみ）
□AR／VR／MR（拡張・仮想・複合現実：デジタルで体験を広げる技術）
□リモートセンシング（遠隔で状態を観測する技術）
□デジタルツイン（現実空間を仮想空間に再現するしくみ）
□その他（　　）

(4)DXの推進にあたっての課題があれば、該当するものをお選びください。（複数選択可）
□DXに関わる人材が足りない
□専門知識を持つ人材がいない
□効果や成果が見えにくい
□予算の確保が難しい
□試行する機会がない
□その他（　　）

4．複合スキル型エッセンシャルワーカー

＊「複合スキル型エッセンシャルワーカー」とは、自らの専門領域を軸にしつつ、多職種との連携やデジタル技術の活用を通じて課題解決に取り組む人材を指します。
例：公務員や医療・福祉施設などとの連携

(1)行政や医療福祉施設などの他機関との連携や情報共有の機会について、当てはまるものを選択してください。
□定期的に実施している
□たまに実施している
□あまり実施していない
□実施していない
□その他（　　）

(2)貴社において、複合スキル型エッセンシャルワーカーの必要性について当てはまるものを選択してください。
□非常に必要
□ある程度必要
□あまり必要ない
□必要ない
□その他（　　）

(3) 複合スキル型エッセンシャルワーカーのような人材の育成や研修の実績について当てはまるものを選択してください。

□現在実施している
□過去に実施したことがある
□検討したことがある
□実施していない
□その他（　　）

(4) 複合スキル型エッセンシャルワーカーのような人材を育成・確保するうえでの課題について当てはまるものを選択してください。（複数選択可）

□担当者・講師の確保が難しい
□研修時間や日程の調整が難しい
□費用負担が大きい
□職員の意識や理解が不足している
□その他（　　）

(5)研修の実施や企画する場合に、課題として当てはまるものを選択してください。（複数選択可）

□対象者の選定が難しい
□実施内容のテーマ設定が難しい
□外部連携・協力体制の構築が難しい
□研修後の活用機会が少ない
□その他（　　）

(6)今後、DXや多職種連携に関する研修が島内で実施される場合に、参加または職員の派遣に関する意向として当てはまるものを選択してください。

□積極的に参加または派遣したい
□実施内容次第で参加または派遣したい
□現時点では、あまり参加または派遣を考えていない
□その他（　　）

5．本事業への関心

(1) 島嶼部における地域課題解決に寄与する複合スキル型エッセンシャルワーカーの育成プログラム開発に関する本事業への関心度について当てはまるものを選択してください。

□非常に関心がある
□少し関心がある
□事業の説明を希望したい
□あまり関心はない
□関心はない
□その他（　　）

(2)今後、当協会からの情報提供（事業成果・研修案内など）を希望しますか。

□希望する
□希望しない
□その他（　　）

(3)本事業や医療・福祉分野における人材育成、DX推進に関して、ご意見・ご感想などございましたら自由にご記入ください。

アンケート調査結果

1)【自治体対象】結果概要　対象：２４６件　回答数：３１件

【人材確保】
- 「大きく不足」約 48.5%＋「やや不足」約 48.5%＝約 97%が不足
- 対応策（自由記述）：採用強化／移住定住支援／試験制度工夫／外部人材活用などが幅広い。
-

【研修】
- 研修の必要性：非常に必要 35%／ある程度必要 62%
- 実施上の壁（複数選択・のべ上位）：
  ①効果測定が難しい　②講師・教材確保　③時間確保

【DX】
- DX 推進の必要性：100%（非常に必要 58%／ある程度 42%）
- 取組状況：すでに取り組んでいる 約 65%
- 主要課題（複数選択・のべ上位）：
  ①DX に関わる人材不足 ②専門知識人材がいない ③予算確保が難しい
- 「AI」「セキュリティ対策」などの活用・活用強化ニーズが上位
- 「人材不足で研修・DX まで手が回らない」「育成人材を派遣する制度はないか」等の声。(自由記述)

【連携・複合スキル人材】
- 他機関連携・情報共有：「実施していない」約 42%
- 複合スキル型人材の必要性：「非常に必要＋ある程度必要」64%

2)【医療・福祉施設対象】結果概要　対象：７６件　回答数１５件

【人材確保】
- 不足（やや＋大きく）：約 87%
- 特に課題と感じている次項(自由記述)
  「若年層が入らない」「応募自体が少ない」「離島ゆえの人材制約」「賃金・報酬構造の問題」など、構造課題が目立つ。

【外国人材】
- 活用状況：「採用を考えたことはない」33%が最大／「採用を検討」は 20%／「すでに採用」13%
- 「すでに採用」の人数カテゴリは、すべて「5～10 人」

【研修】
- 研修実施：「定期的」33%／「必要に応じて」33%
- 実施上の壁（複数選択・のべ上位）：
  ①時間確保　②講師・教材　③費用負担

【DX】
- DX/業務改善研修の必要性：約 87%が必要
- 取組状況：すでに取り組んでいる 約 47%／取り組みを検討 約 20%
- 技術ニーズ（複数選択・のべ上位）：クラウド/データ活用、AI、IoT
- DX 推進における課題（複数選択・のべ上位）：
  ①専門知識人材がいない　②予算確保　③DX に関わる人材の不足

【連携・複合スキル人材】
- 複合スキル型人材の必要性：「非常に必要＋ある程度必要」73%
- 複合スキル型人材に関する研修の実績：実施していない　約 87%

3)【IT 系・物流・交通・教育等対象】結果概要　対象：９０件　回答数１０件

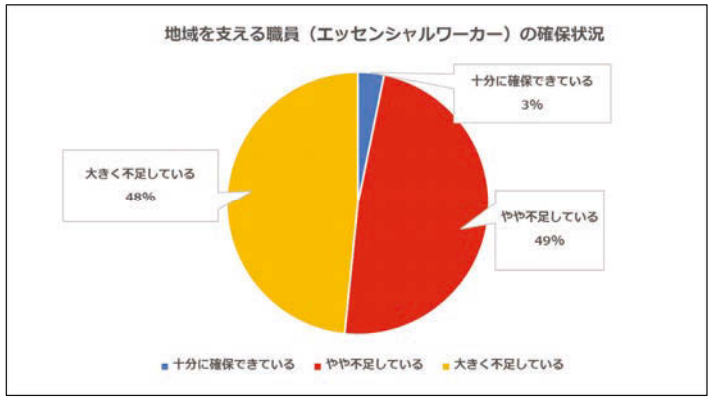
【人材確保】
- 不足（やや＋大きく）：70%
- 課題に関する自由記述：「応募数減」「魅力発信の時間がない」「若年層の島離れ」「採用・交流不足」などが中心。

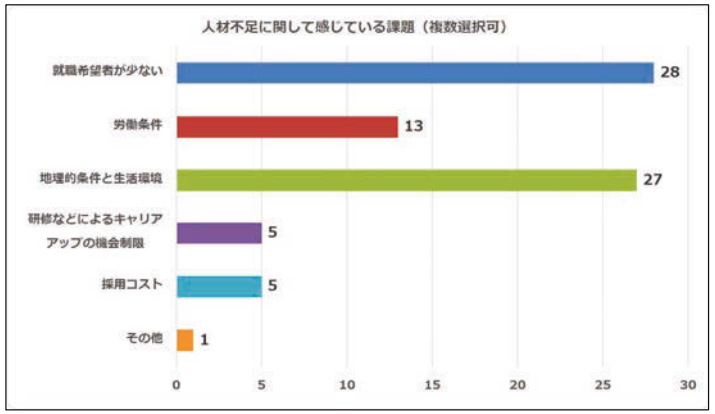
【研修】
- 研修実施：「定期的」30%／「必要に応じて」20%
- 実施上の壁（上位）：①時間確保　②講師・教材　③費用
- 実施例（自由記述）：BPR 研修／kintone 活用など。

【DX】
- DX/業務改善研修の必要性：100%が必要
- 取組状況：「検討中」50%／「取り組めていない」20%
- 技術ニーズ（上位）：セキュリティ、AI、クラウド/データ活用
- DX 推進における課題（複数選択・のべ上位）：
  ①DX にかかわる人材の不足　②専門知識人材の不足　③効果が見えにくい
-

【連携・複合スキル】
- 行政・医療福祉施設との連携機会：「あまり実施していない」50%／「実施していない」20%
- 複合スキル型人材の必要性：「ある程度必要」90%
- 複合スキル型人材に関する研修の実績：実施していない　約 70%

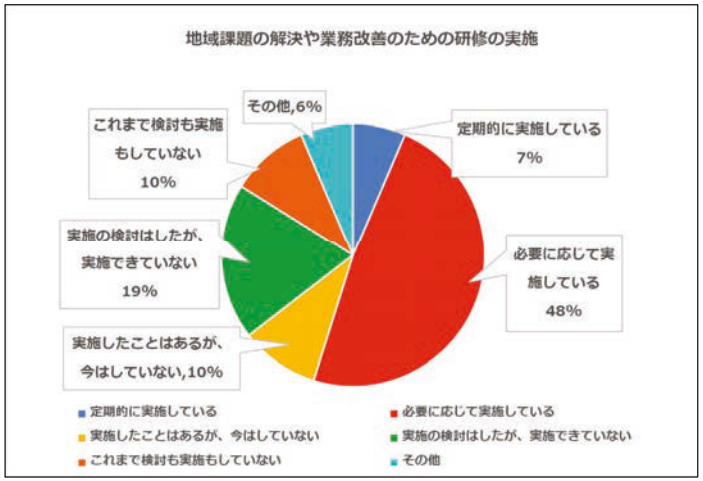
【自治体対象】

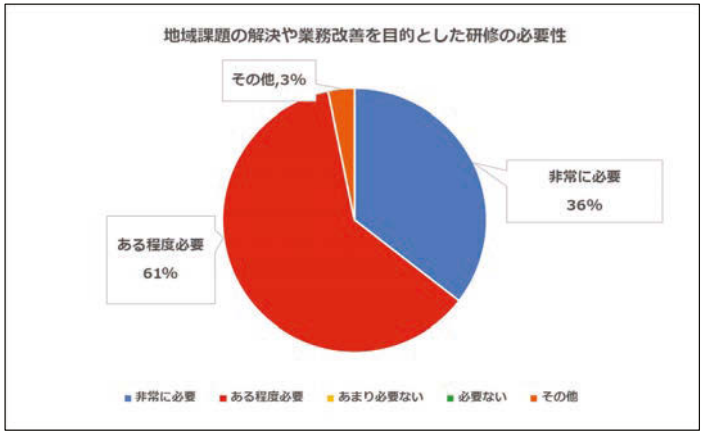


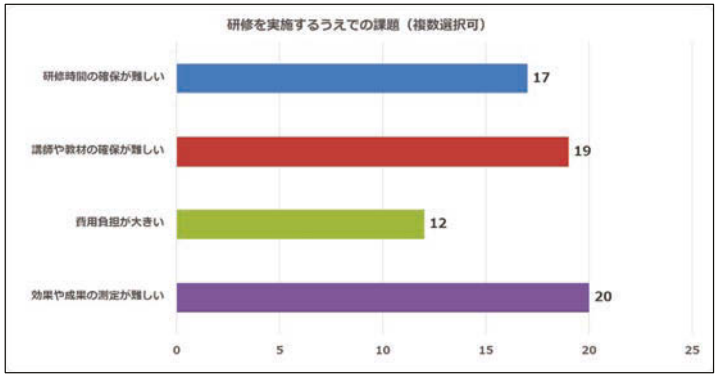


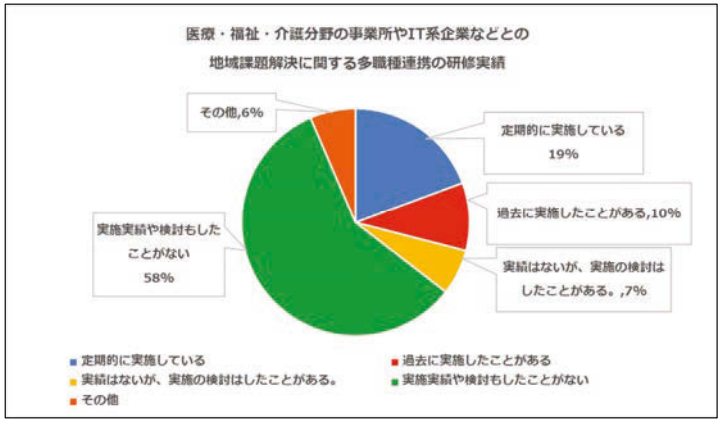
人材不足への対応策として現在実施していること、あるいはこれから取り組む事項

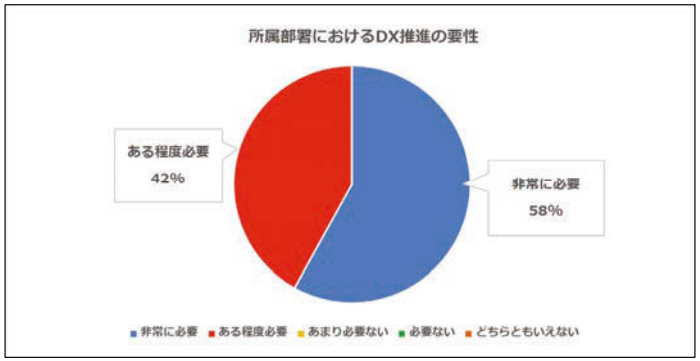
- 地域内での人材育成
- 本土部からの支援
- 医療系大学等への働きかけ等
- 高齢化する地域への側面支援
- 当課では実施していない
- 近隣看護師人材センターへの相談など
- 移住定住に係る補助金交付
- 特に無い
- 遠隔地受験（テストセンター方式）の採用
- 島の魅力の発信。人材への投資（金銭的補助）。
- 採用募集の追加をしている
- 実際に島へ来てもらい、雰囲気や風景を見てもらい就職を決めてもらっている。
- 派遣社員の活用（現在実施）、外国人材の活用（取り組む予定）
- 職員採用システムの導入及び採用可能年齢の引き上げ
- 職場体験の旅費助成
- 筆耕し準備金の補助、ICT を活用した党内での保育士養成課程講座運営
- なし
- 研修
- 特になし。
- 資格保有者については、筆記試験を免除し、面接試験のみ実施している
- 実習生の受け入れを積極的に行っている
- 職員採用試験専用サイトを活用
- ・島外看護師等誘致支援事業（実施中）・
  ・潜在看護師等再就職応援給付事業（計画中）
- 必要時には、随時募集をしている
- 平戸市介護職人材確保支援事業において、新規採用された介護職等に賞賜金の支給
- ハローワークの活用、ホームページの活用
- 求人サイトでの募集
- 面談実施による早期離職の抑制、メンター制度の導入、遠隔地での採用試験の実施及び採用機会の増
- 渡航費補助、宿舎借り上げ等の家賃補助等を実施している

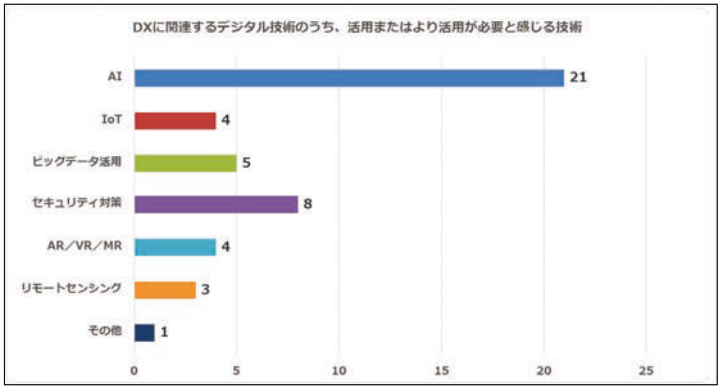

地域課題の解決や業務改善のための研修の実施
その他,6%
定期的に実施している
7%
これまで検討も実施
もしていない
10%
必要に応じて実
施している
48%
実施の検討はしたが、
実施できていない
19%
実施したことはあるが、
今はしていない,10%
定期的に実施している
必要に応じて実施している
実施したことはあるが、今はしていない
実施の検討はしたが、実施できていない
これまで検討も実施もしていない
その他


地域課題の解決や業務改善を目的とした研修の必要性
その他,3%
非常に必要
36%
ある程度必要
61%
非常に必要
ある程度必要
あまり必要ない
必要ない
その他

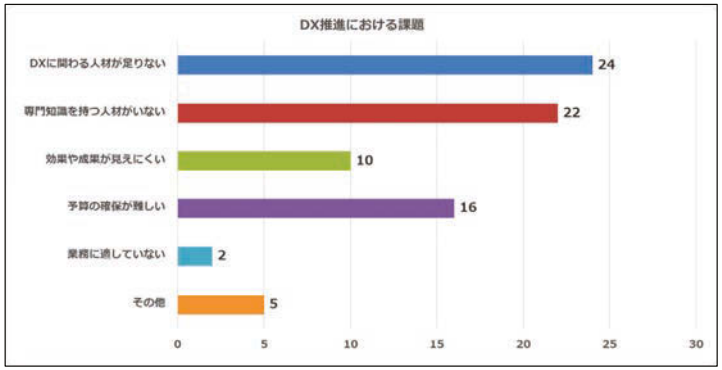

研修を実施するうえでの課題（複数選択可）
研修時間の確保が難しい
17
講師や教材の確保が難しい
19
費用負担が大きい
12
効果や成果の測定が難しい
20
0
5
10
15
20
25

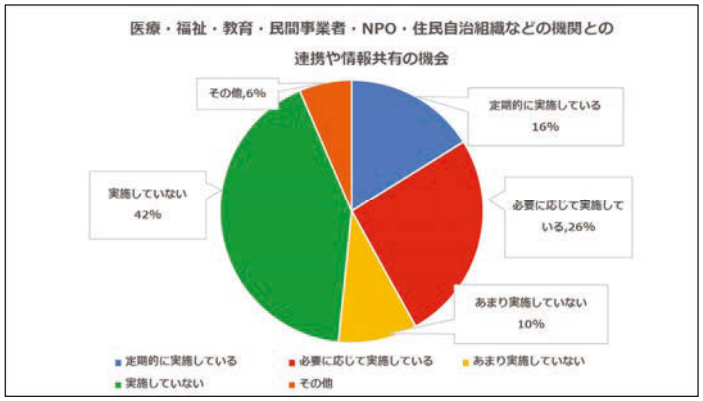

医療・福祉・介護分野の事業所やIT系企業などとの
地域課題解決に関する多職種連携の研修実績
その他,6%
定期的に実施している
19%
過去に実施したことがある,10%
実施実績や検討もした
ことがない
58%
実績はないが、実施の検討は
したことがある。,7%
定期的に実施している
過去に実施したことがある
実績はないが、実施の検討はしたことがある。
実施実績や検討もしたことがない
その他


所属部署におけるDX推進の要性
ある程度必要
42%
非常に必要
58%
非常に必要
ある程度必要
あまり必要ない
必要ない
どちらともいえない

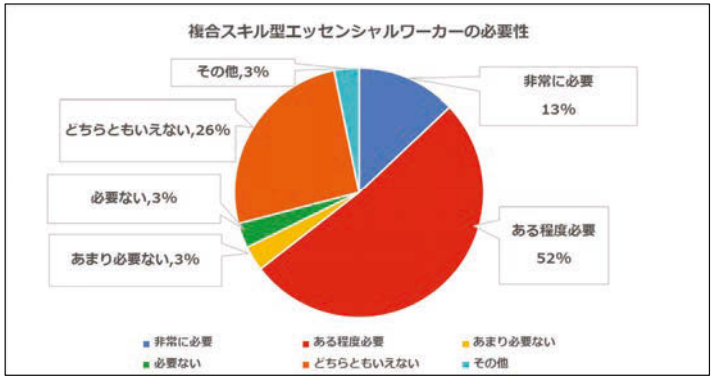

DXに関連するデジタル技術のうち、活用またはより活用が必要と感じる技術
AI
21
IoT
4
ビッグデータ活用
5
セキュリティ対策
8
AR／VR／MR
4
リモートセンシング
3
その他
1
0
5
10
15
20
25

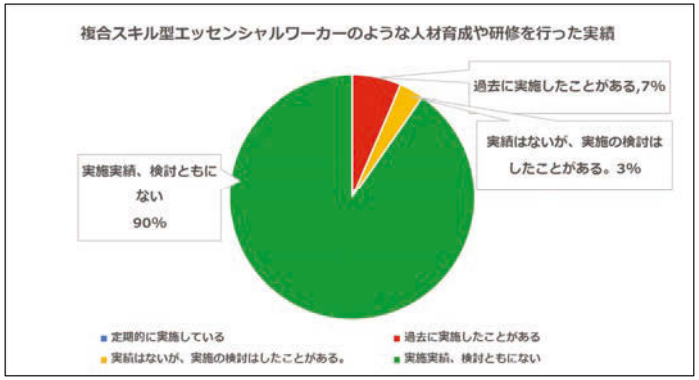
7

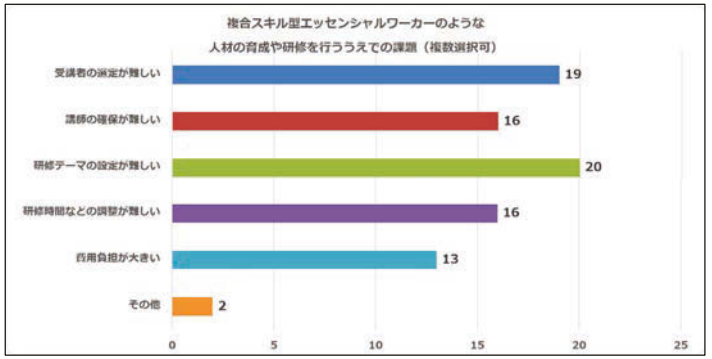

DX推進における課題
DXに関わる人材が足りない
24
専門知識を持つ人材がいない
22
効果や成果が見えにくい
10
予算の確保が難しい
16
業務に適していない
2
その他
5
0
5
10
15
20
25
30

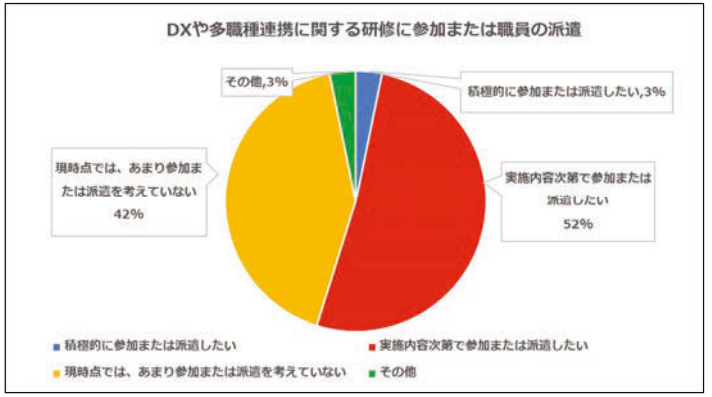

医療・福祉・教育・民間事業者・NPO・住民自治組織などの機関との連携や情報共有の機会
その他,6%
定期的に実施している
16%
実施していない
42%
必要に応じて実施している,26%
あまり実施していない
10%
定期的に実施している
必要に応じて実施している
あまり実施していない
実施していない
その他

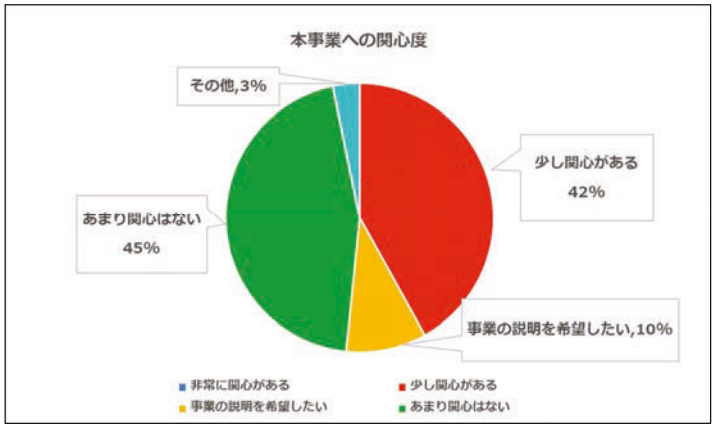
8

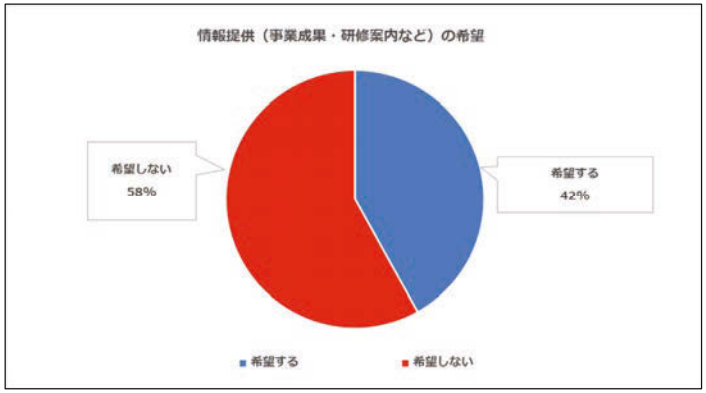

複合スキル型エッセンシャルワーカーの必要性
その他,3%
非常に必要
13%
どちらともいえない,26%
必要ない,3%
ある程度必要
52%
あまり必要ない,3%
非常に必要
ある程度必要
あまり必要ない
必要ない
どちらともいえない
その他


複合スキル型エッセンシャルワーカーのような人材育成や研修を行った実績
過去に実施したことがある,7%
実績はないが、実施の検討はしたことがある。3%
実施実績、検討ともにない
90%
定期的に実施している
過去に実施したことがある
実績はないが、実施の検討はしたことがある。
実施実績、検討ともにない


複合スキル型エッセンシャルワーカーのような
人材の育成や研修を行ううえでの課題（複数選択可）
受講者の選定が難しい
19
講師の確保が難しい
16
研修テーマの設定が難しい
20
研修時間などの調整が難しい
16
費用負担が大きい
13
その他
2
0
5
10
15
20
25


DXや多職種連携に関する研修に参加または職員の派遣
その他,3%
積極的に参加または派遣したい,3%
現時点では、あまり参加または派遣を考えていない
42%
実施内容次第で参加または派遣したい
52%
積極的に参加または派遣したい
実施内容次第で参加または派遣したい
現時点では、あまり参加または派遣を考えていない
その他

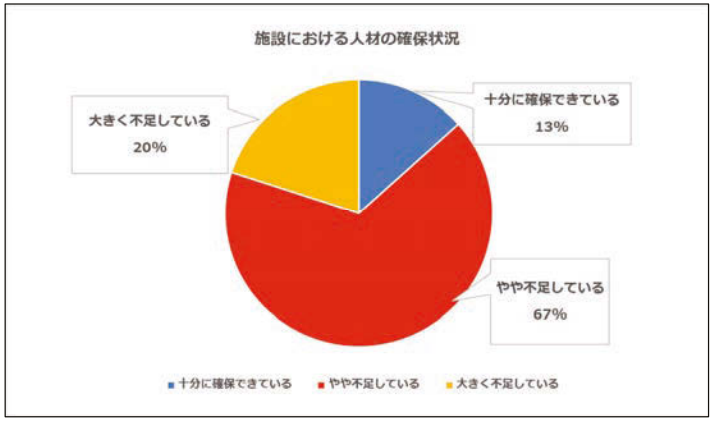


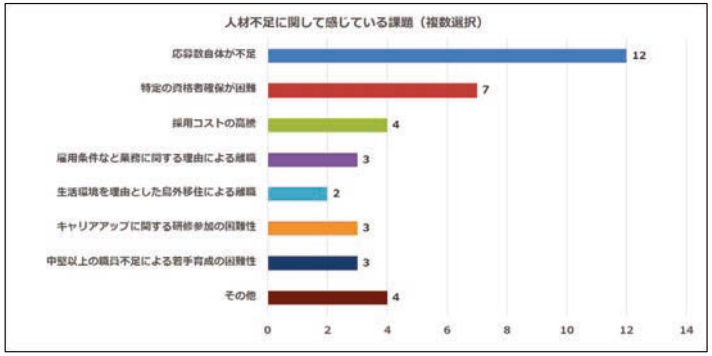


本事業や自治体における人材育成、DX 推進に関して、ご意見・ご感想

- DX 推進と並行して地域の人手不足に対応したサービスや仕組みを作る必要がありますが、進みにくい状況です。
- 地域課題の解決が自治体の役目であるのは理解しているが、人材不足が影響し人材育成まで手が出せない。DX の取り組みや標準化を実施しなければならず、情報係の職員も少ない。人材に余裕がないため、時間はかかるが順番にこなしていくしかないと思われる。
- 特になし
- 島嶼部に資格やスキルを持っている人はいないし、人材不足のため研修受講の時間確保も難しいので、育成した人材を派遣するような制度はないのでしょうか。
- 特にありません。

【医療福祉施設対象】



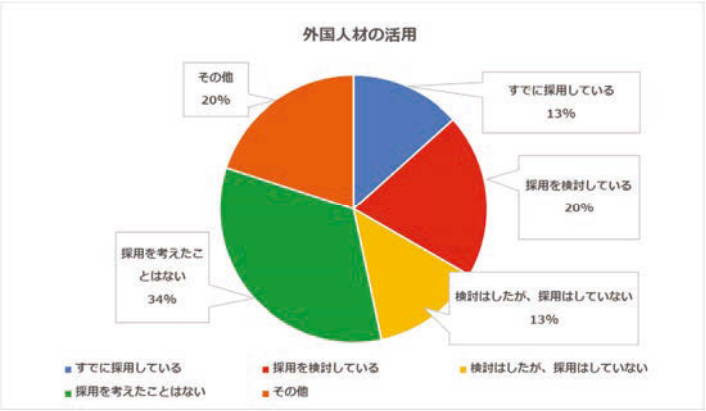


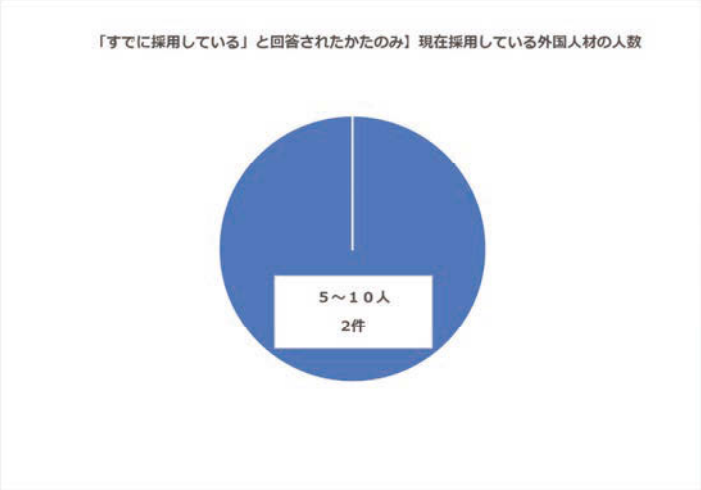
特に課題である感じている事項

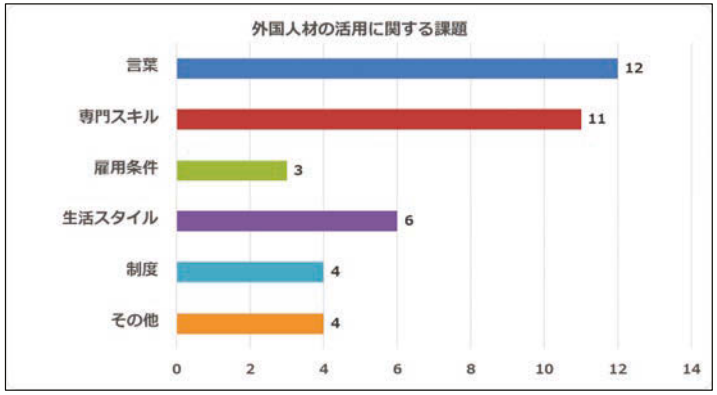
- 若年層の職員がいないため、人材育成も図れない。
- 職員の高齢化、若い職員が入って来ない。50 代 60 代の中途採用が増加。
- 応募自体が少ない
- 都市部と離島の格差
- 島内でも障がい福祉分野の特定資格者の確保が難しい。島全体の課題。
- 離島という地域性の中で人材が限られる
- 介護福祉士を志す若者の人材不足
- 1．最低賃金上昇及び物価高騰に伴う介護報酬が汲み入れられていないこと
  2．介護職員一人当たりへの賃金及び介護福祉士等有資格者への賃金が平均所得から 83,000 円の格差があること（ステータスが足りない）
  3．日本人が嫌がる仕事を外国人に依頼し、雇用使用する政策
  4．社会福祉事業の内介護福祉や障害福祉が措置ではなく、介護保険制度・総合事業に変更されてから、世の中のスピードの変化に沿った報酬改定（3 年に 1 度の改定）ではなく益々差が出ていること
  5．人口が減少する中、福祉関係において働く職員の評価（人件費）が弱いこと
  6．介護等の仕事が魅力発信や DX 化・テクノロジーの活用が浸透していないこと
  7．上記 1～7 を将来へ必要な政策としてほしいです。
- どの業界も人手不足です。
- 生産労働人口の減少、介護の魅力（ICT・介護ロボット活用）などの発信不足

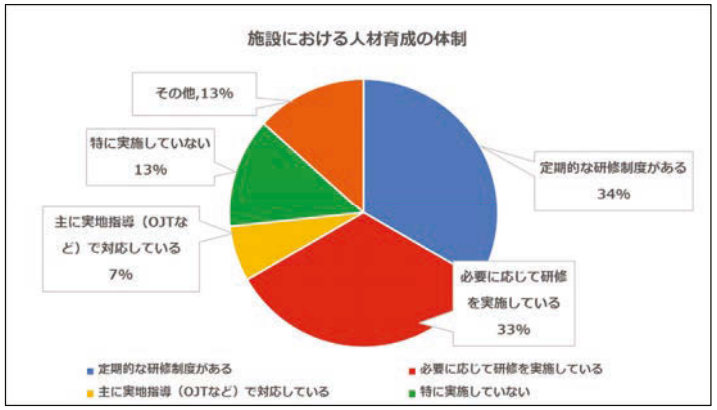
人材不足への対応策として、現在実施していること

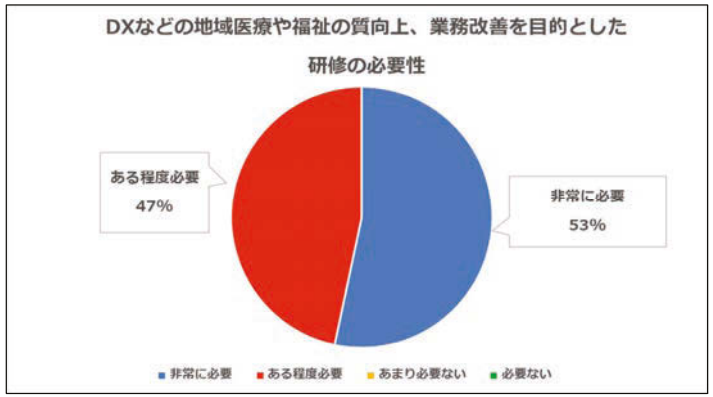
- 特になし。
- 人材紹介会社の活用。専門学校などへの訪問説明会。職員募集用ののぼり旗。
- 求人サイトの活用、職場見学バスツアーへ参加
- スポット雇用、外国人材の雇用
- 紹介会社による期間雇用
- 資格取得の推進、給与額の底上げ検討。
- 島内専門学校からの実習受け入れをし、良い人材の確保
- 日ごろから実施する仕事の中で、介護福祉士でなければできない仕事は介護福祉士が実施、それ以外の仕事を機械化や外国人や障害者や高年齢者に依頼する仕組みを追求
- 募集の広告、人伝に聞く、特定地域づくり事業協同組合からの派遣
- 給与、福利厚生の見直しなど。SNS を活用した PR 方法を構築

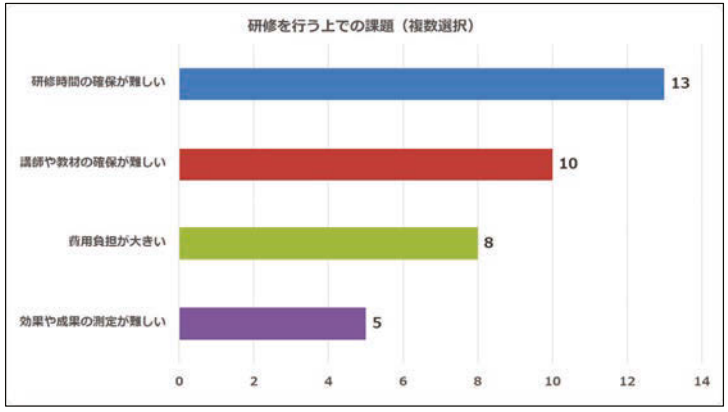

外国人材の活用
その他
20%
すでに採用している
13%
採用を検討している
20%
採用を考えたこ
とはない
34%
検討はしたが、採用はしていない
13%
すでに採用している
採用を検討している
検討はしたが、採用はしていない
採用を考えたことはない
その他

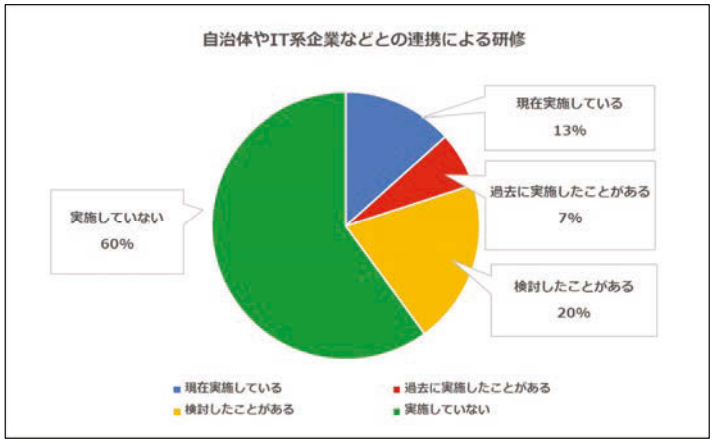

「すでに採用している」と回答されたかたのみ】現在採用している外国人材の人数
5～10人
2件


外国人材の活用に関する課題
言葉
12
専門スキル
11
雇用条件
3
生活スタイル
6
制度
4
その他
4
0
2
4
6
8
10
12
14


施設における人材育成の体制
その他,13%
特に実施していない
13%
主に実地指導（OJTな
ど）で対応している
7%
定期的な研修制度がある
34%
必要に応じて研修
を実施している
33%
定期的な研修制度がある
必要に応じて研修を実施している
主に実地指導（OJTなど）で対応している
特に実施していない

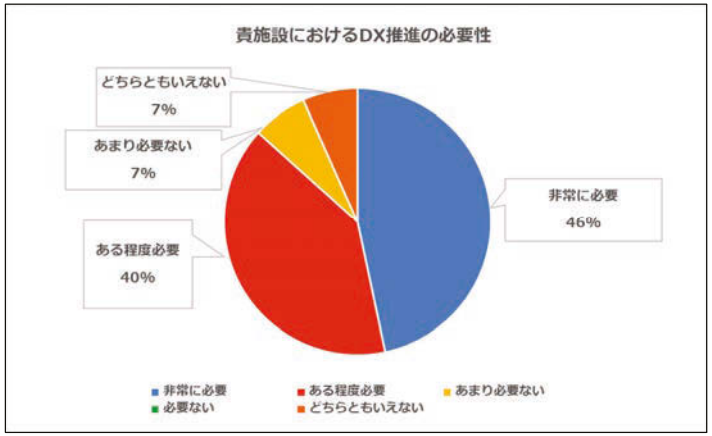


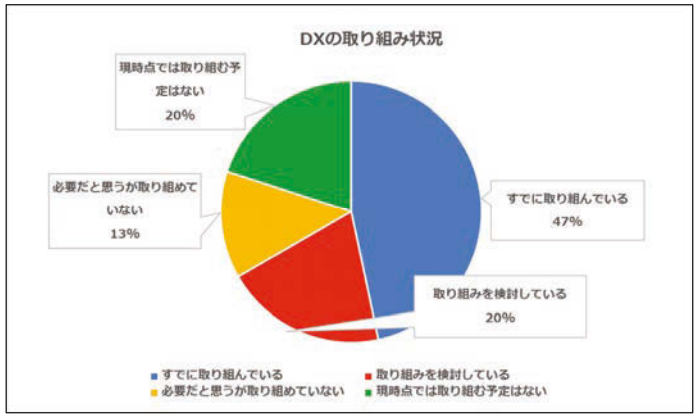


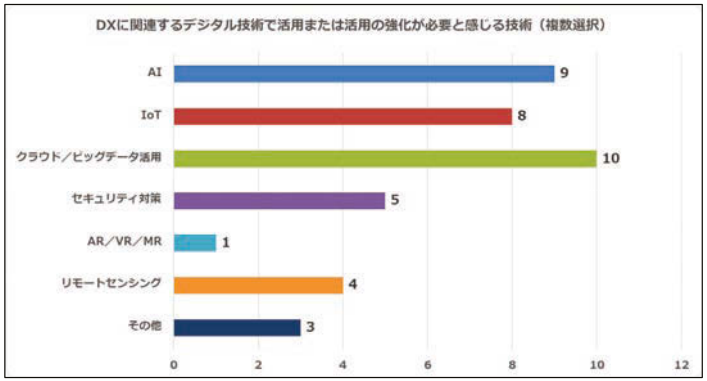


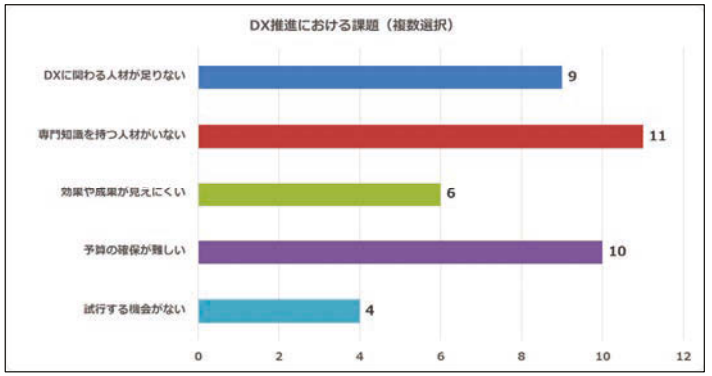
どのような研修を実施している(した)か

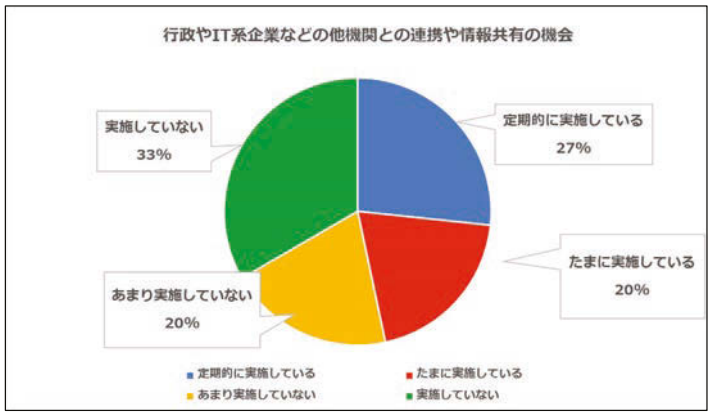
- 長崎県市町村振興協議会による各種テーマの研修
- デジタル人材養成研修、業務改善までのプロセスやツールの活用

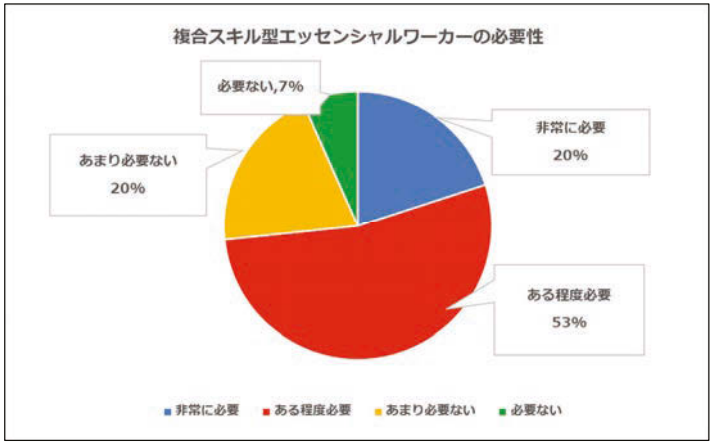


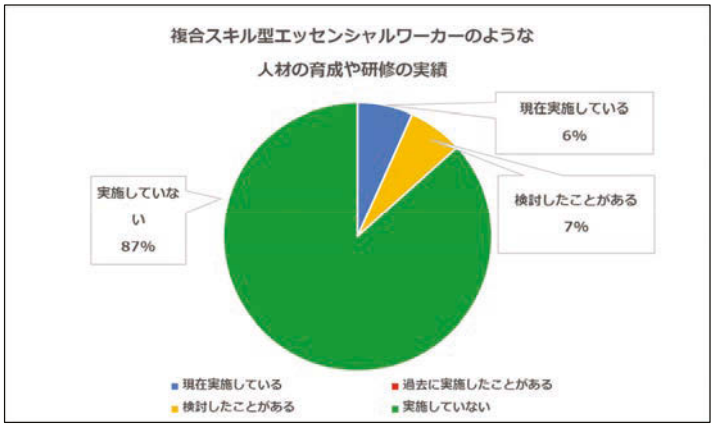

DXの取り組み状況
現時点では取り組む予定はない 20%
すでに取り組んでいる 47%
必要だと思うが取り組めていない 13%
取り組みを検討している 20%
すでに取り組んでいる
取り組みを検討している
必要だと思うが取り組めていない
現時点では取り組む予定はない

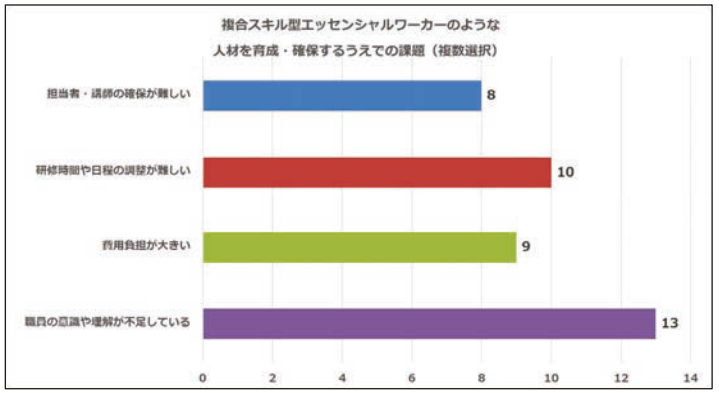

DXに関連するデジタル技術で活用または活用の強化が必要と感じる技術（複数選択）
AI 9
IoT 8
クラウド／ビッグデータ活用 10
セキュリティ対策 5
AR／VR／MR 1
リモートセンシング 4
その他 3
0 2 4 6 8 10 12

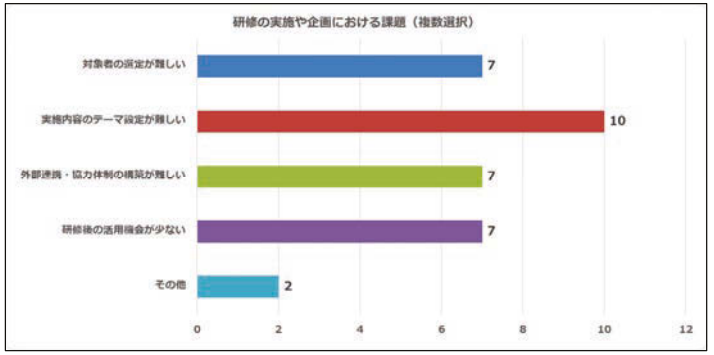

DX推進における課題（複数選択）
DXに関わる人材が足りない 9
専門知識を持つ人材がいない 11
効果や成果が見えにくい 6
予算の確保が難しい 10
試行する機会がない 4
0 2 4 6 8 10 12

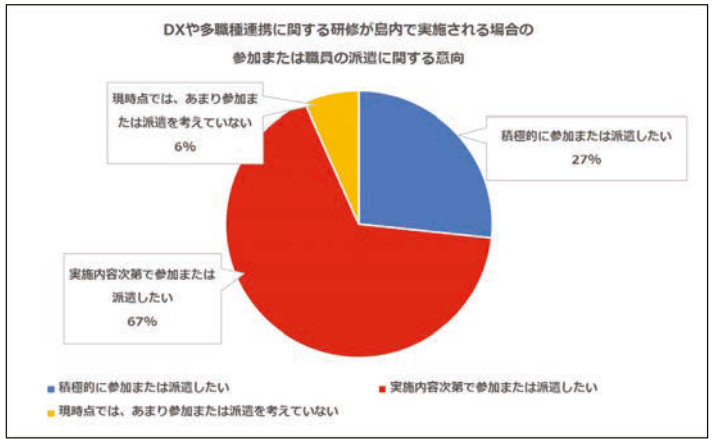

行政やIT系企業などの他機関との連携や情報共有の機会
実施していない 33%
定期的に実施している 27%
たまに実施している 20%
あまり実施していない 20%
定期的に実施している
たまに実施している
あまり実施していない
実施していない

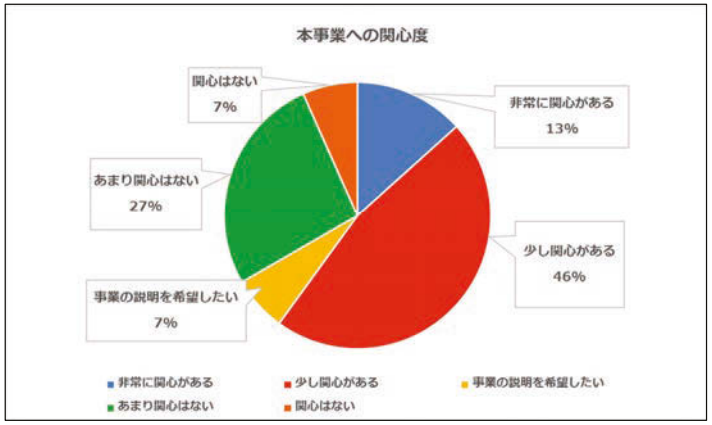

複合スキル型エッセンシャルワーカーの必要性
必要ない,7%
非常に必要
20%
あまり必要ない
20%
ある程度必要
53%
非常に必要
ある程度必要
あまり必要ない
必要ない

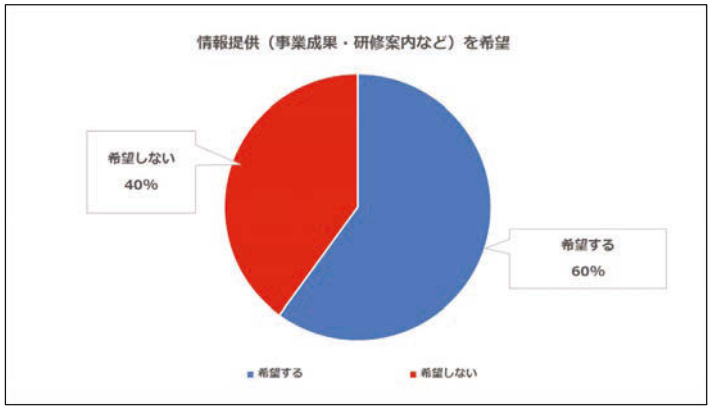

複合スキル型エッセンシャルワーカーのような
人材の育成や研修の実績
現在実施している
6%
検討したことがある
7%
実施していない
87%
現在実施している
過去に実施したことがある
検討したことがある
実施していない


複合スキル型エッセンシャルワーカーのような
人材を育成・確保するうえでの課題（複数選択）
担当者・講師の確保が難しい
8
研修時間や日程の調整が難しい
10
費用負担が大きい
9
職員の意識や理解が不足している
13
0
2
4
6
8
10
12
14


研修の実施や企画における課題（複数選択）
対象者の選定が難しい
7
実施内容のテーマ設定が難しい
10
外部連携・協力体制の構築が難しい
7
研修後の活用機会が少ない
7
その他
2
0
2
4
6
8
10
12



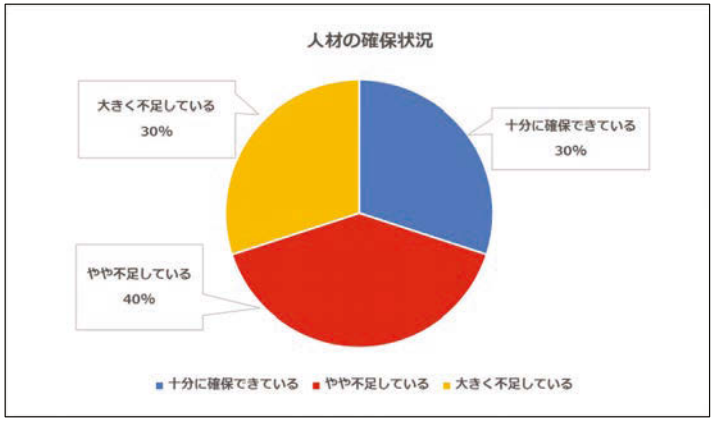


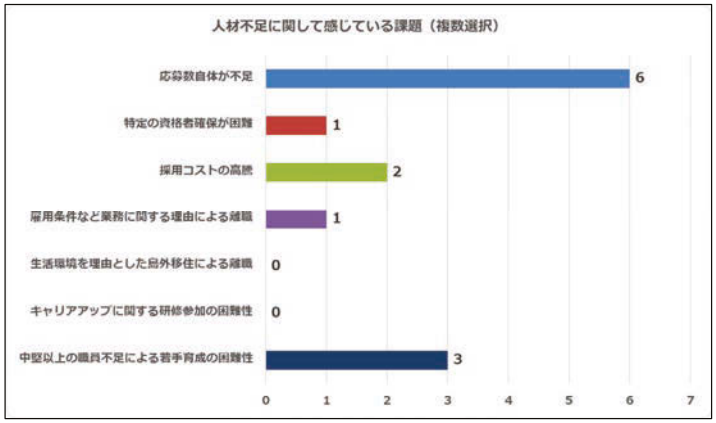


本事業や医療・福祉分野における人材育成、DX 推進に関して、ご意見・ご感想など

- 事業成果報告書をご恵与ください。回答者情報に記載のメールアドレス宛に、PDF で送付いただけると幸いです。
- 今回このような機会をいただいて感謝します。奄美群島だけではなく日本全体に必要な課題と考えます。ぜひ、島嶼部や山間地域にお住いの高齢者が安心した介護サービスを受け続けることができるように努力したいと思います。

【IT 系企業、物流、交通、教育系など対象】



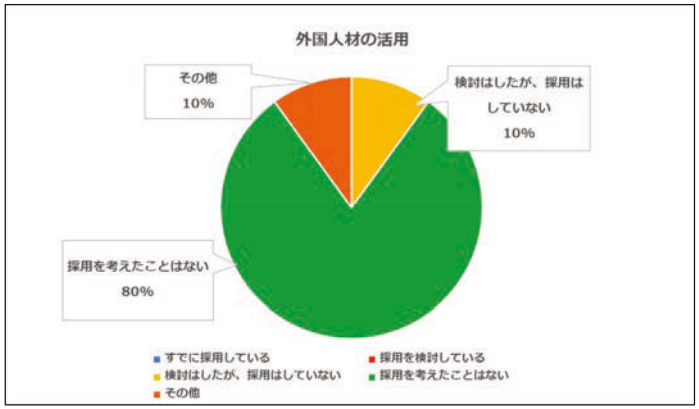


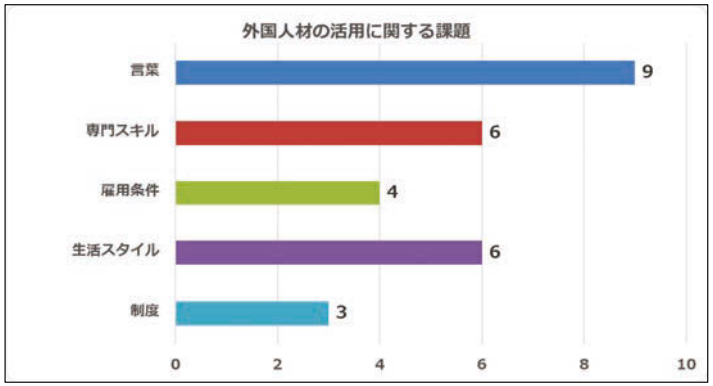
特に課題である感じている事項

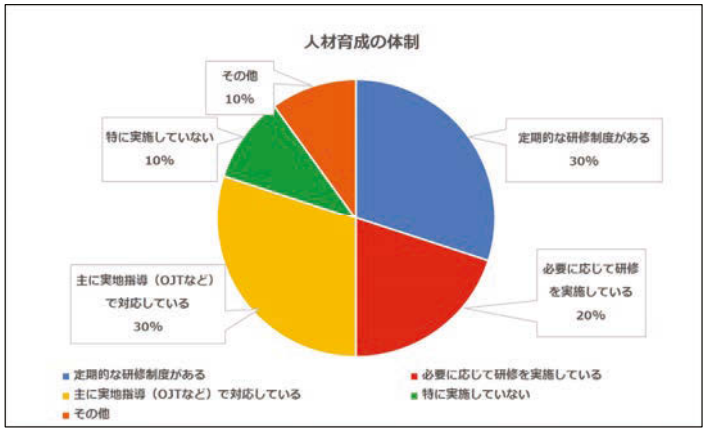
- 応募数自体の減少
- 自社の仕事の魅力を発信する時間を確保できない。
- 離島である環境、若年層の島離れ。また島外移住者を向かい得るための手当の検討と現職員へのバランス
- 島内エンジニアとの交流不足、採用活動不足

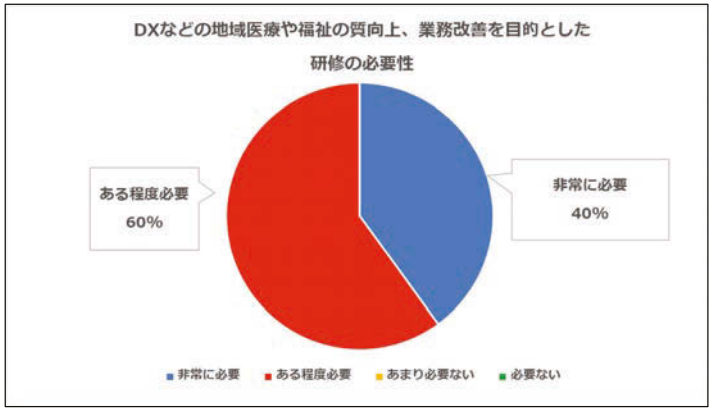
人材不足への対応策として、現在実施していること

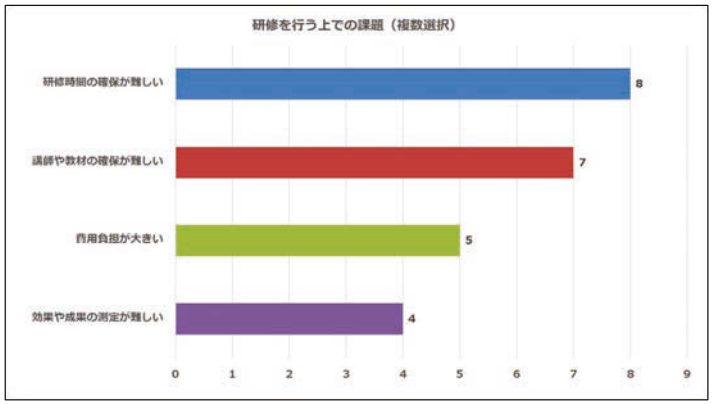
- 非常勤講師による専門分野の授業実施
- 各種学校へ等の訪問挨拶
- ハローワーク求人、地元マッチング企業への掲載
- HP 開設、高校生への企業説明会参加、沖縄本島へと宣伝
- なし

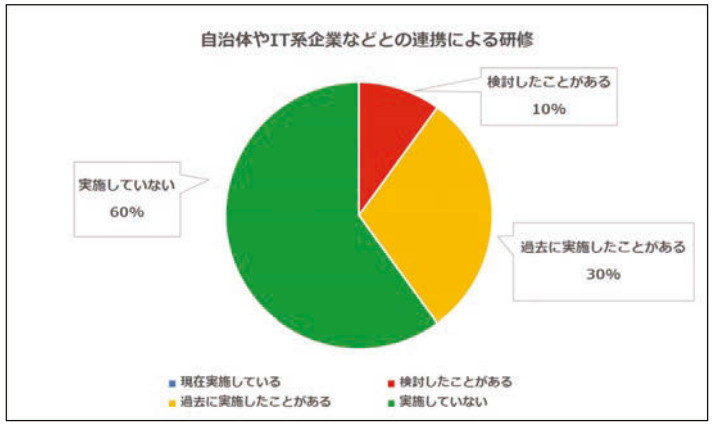



外国人材の活用に関する課題
言葉
9
専門スキル
6
雇用条件
4
生活スタイル
6
制度
3
0
2
4
6
8
10


人材育成の体制
その他
10%
特に実施していない
10%
定期的な研修制度がある
30%
主に実地指導（OJTなど）
で対応している
30%
必要に応じて研修
を実施している
20%
定期的な研修制度がある
必要に応じて研修を実施している
主に実地指導（OJTなど）で対応している
特に実施していない
その他

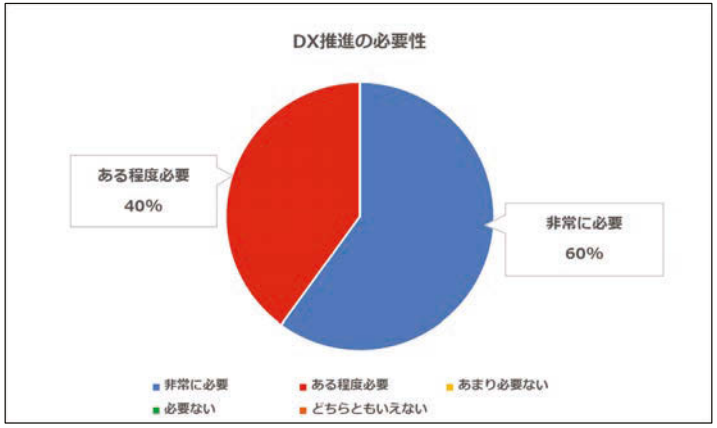

DXなどの地域医療や福祉の質向上、業務改善を目的とした
研修の必要性
ある程度必要
60%
非常に必要
40%
非常に必要
ある程度必要
あまり必要ない
必要ない

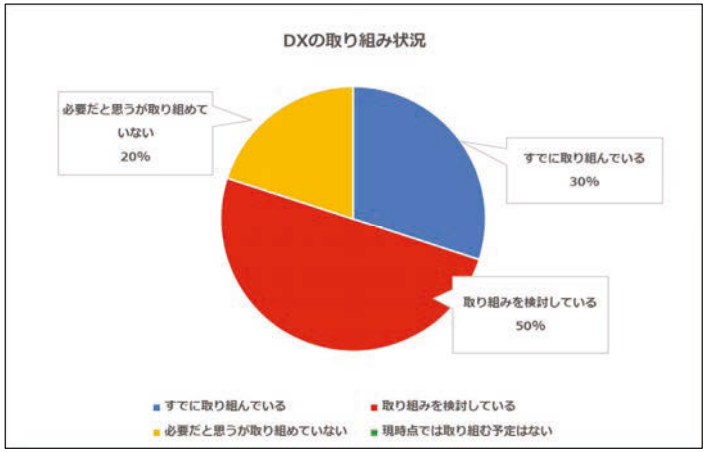

研修を行う上での課題（複数選択）
研修時間の確保が難しい
8
講師や教材の確保が難しい
7
費用負担が大きい
5
効果や成果の測定が難しい
4
0
1
2
3
4
5
6
7
8
9

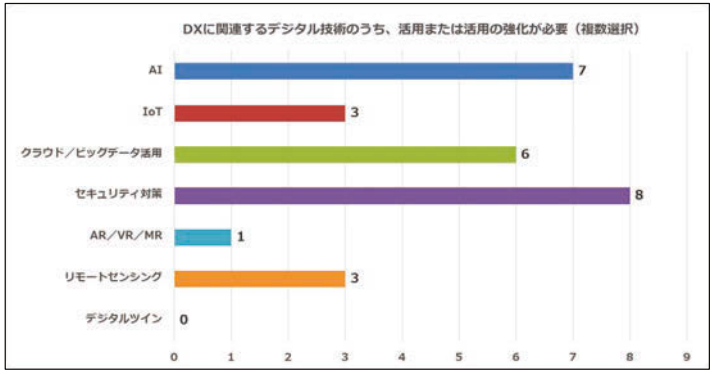


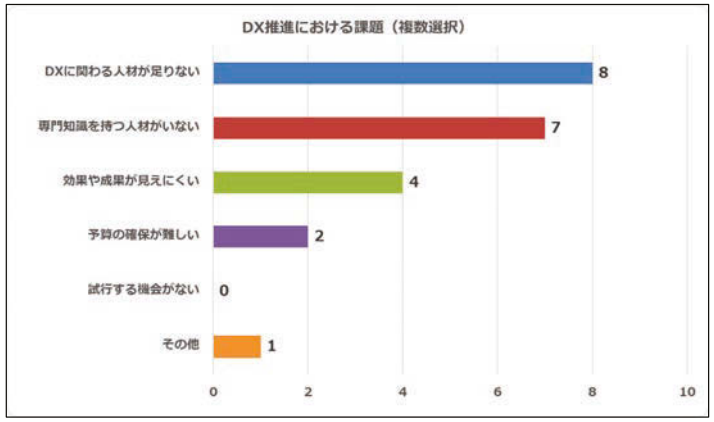
どのような研修を実施している(した)か

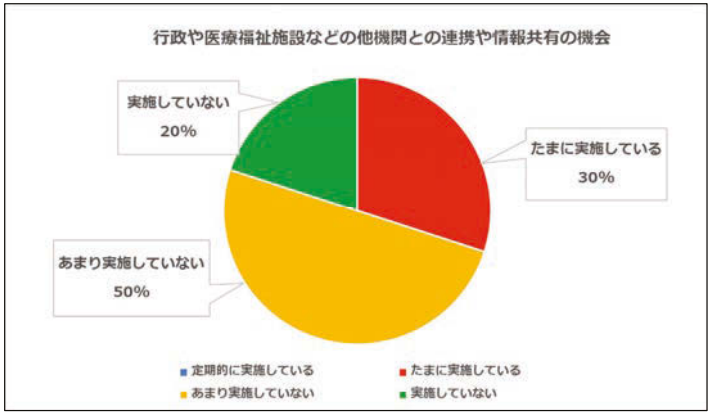
- BPR 研修
- kintone を使った業務効率化
- 言語研修等



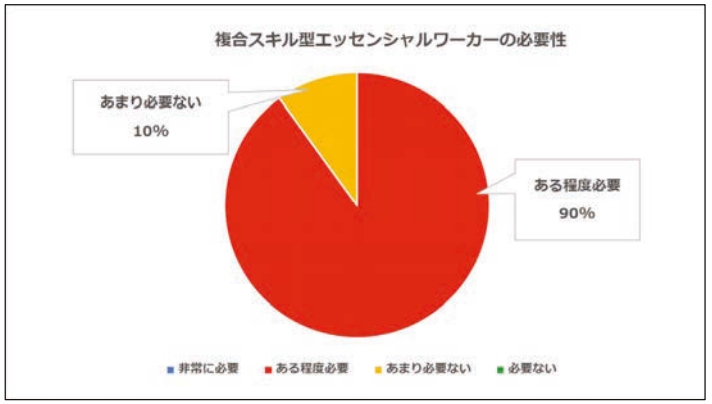


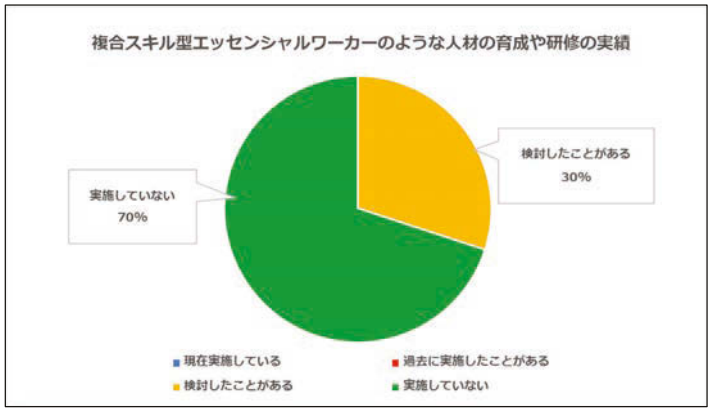



DX推進における課題（複数選択）
DXに関わる人材が足りない
8
専門知識を持つ人材がいない
7
効果や成果が見えにくい
4
予算の確保が難しい
2
試行する機会がない
0
その他
1
0
2
4
6
8
10

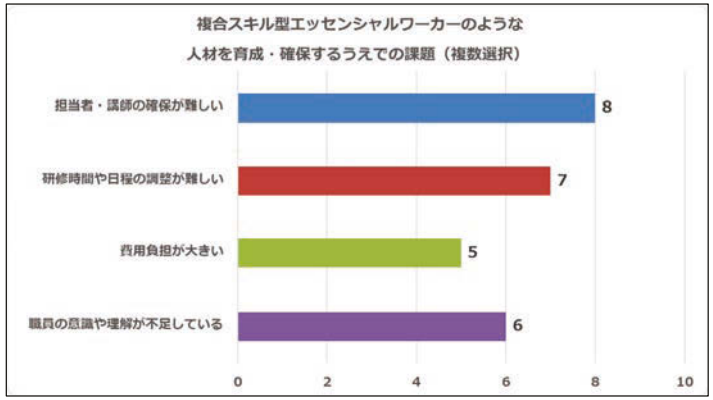

行政や医療福祉施設などの他機関との連携や情報共有の機会
実施していない
20%
たまに実施している
30%
あまり実施していない
50%
定期的に実施している
たまに実施している
あまり実施していない
実施していない

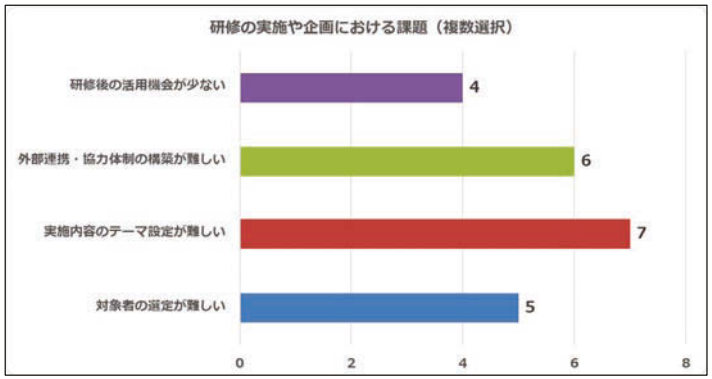
31

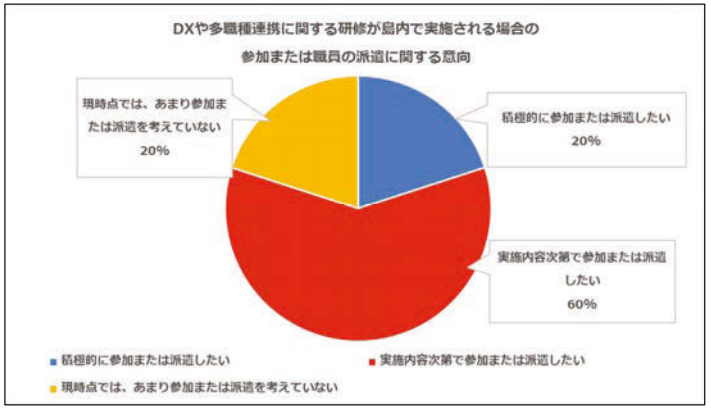

複合スキル型エッセンシャルワーカーの必要性
あまり必要ない
10%
ある程度必要
90%
非常に必要
ある程度必要
あまり必要ない
必要ない

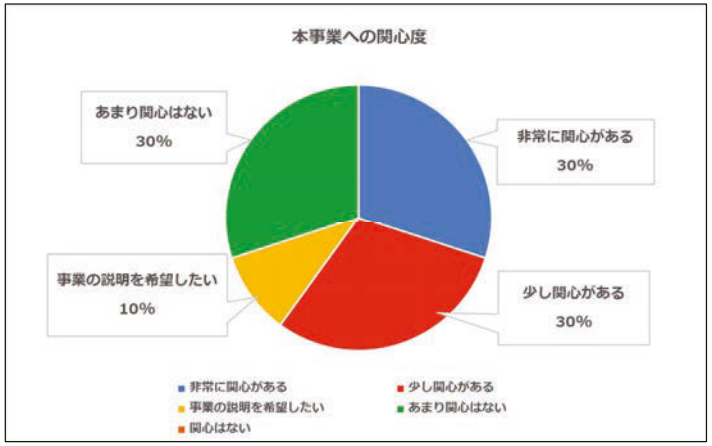

複合スキル型エッセンシャルワーカーのような人材の育成や研修の実績
検討したことがある
30%
実施していない
70%
現在実施している
過去に実施したことがある
検討したことがある
実施していない

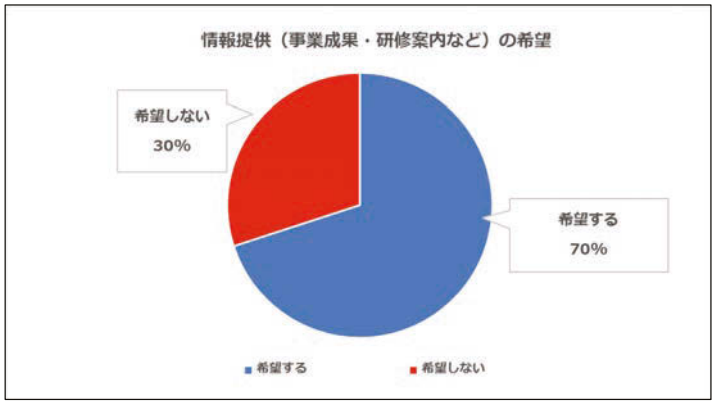
32


複合スキル型エッセンシャルワーカーのような
人材を育成・確保するうえでの課題（複数選択）
担当者・講師の確保が難しい
8
研修時間や日程の調整が難しい
7
費用負担が大きい
5
職員の意識や理解が不足している
6
0
2
4
6
8
10


研修の実施や企画における課題（複数選択）
研修後の活用機会が少ない
4
外部連携・協力体制の構築が難しい
6
実施内容のテーマ設定が難しい
7
対象者の選定が難しい
5
0
2
4
6
8


DXや多職種連携に関する研修が島内で実施される場合の
参加または職員の派遣に関する意向
現時点では、あまり参加または派遣を考えていない
20%
積極的に参加または派遣したい
20%
実施内容次第で参加または派遣したい
60%
積極的に参加または派遣したい
実施内容次第で参加または派遣したい
現時点では、あまり参加または派遣を考えていない


本事業への関心度
あまり関心はない
30%
非常に関心がある
30%
事業の説明を希望したい
10%
少し関心がある
30%
非常に関心がある
少し関心がある
事業の説明を希望したい
あまり関心はない
関心はない



本事業や医療・福祉分野の人材育成、DX 推進へのご意見・ご感想

- 島嶼部における少子高齢化や人手不足、スキルの多様化を少しでも解決できるような事業になることを期待している。
- 各分野の責任者同士の出会いと邂逅があり、共に学ぶ環境をつくり、各分野の方々が各組織で DX を推進するためのチームビルディング（共感者の巻き込み）が必要。一社や一人ではなかなか推進できないと感じている。